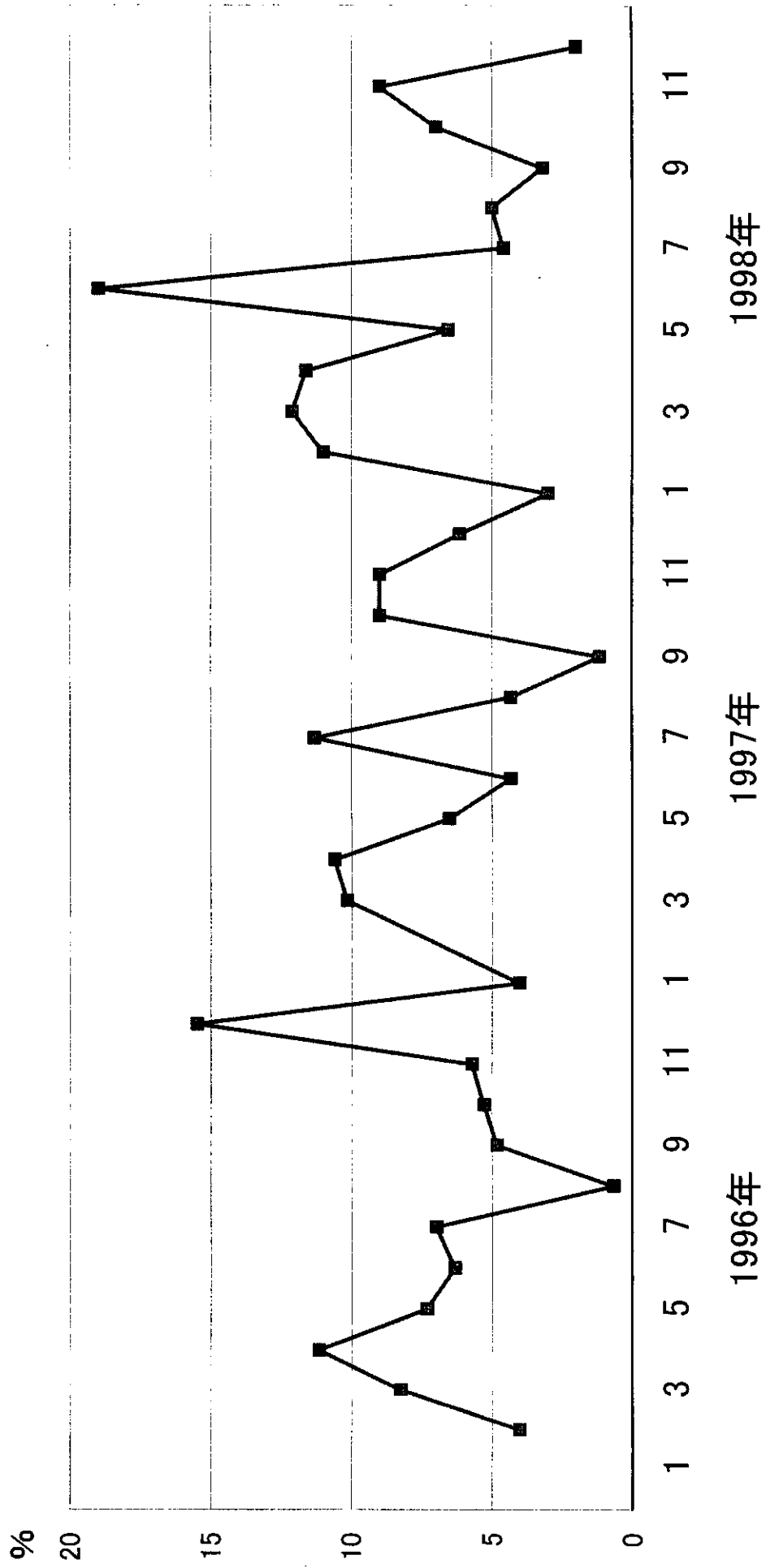
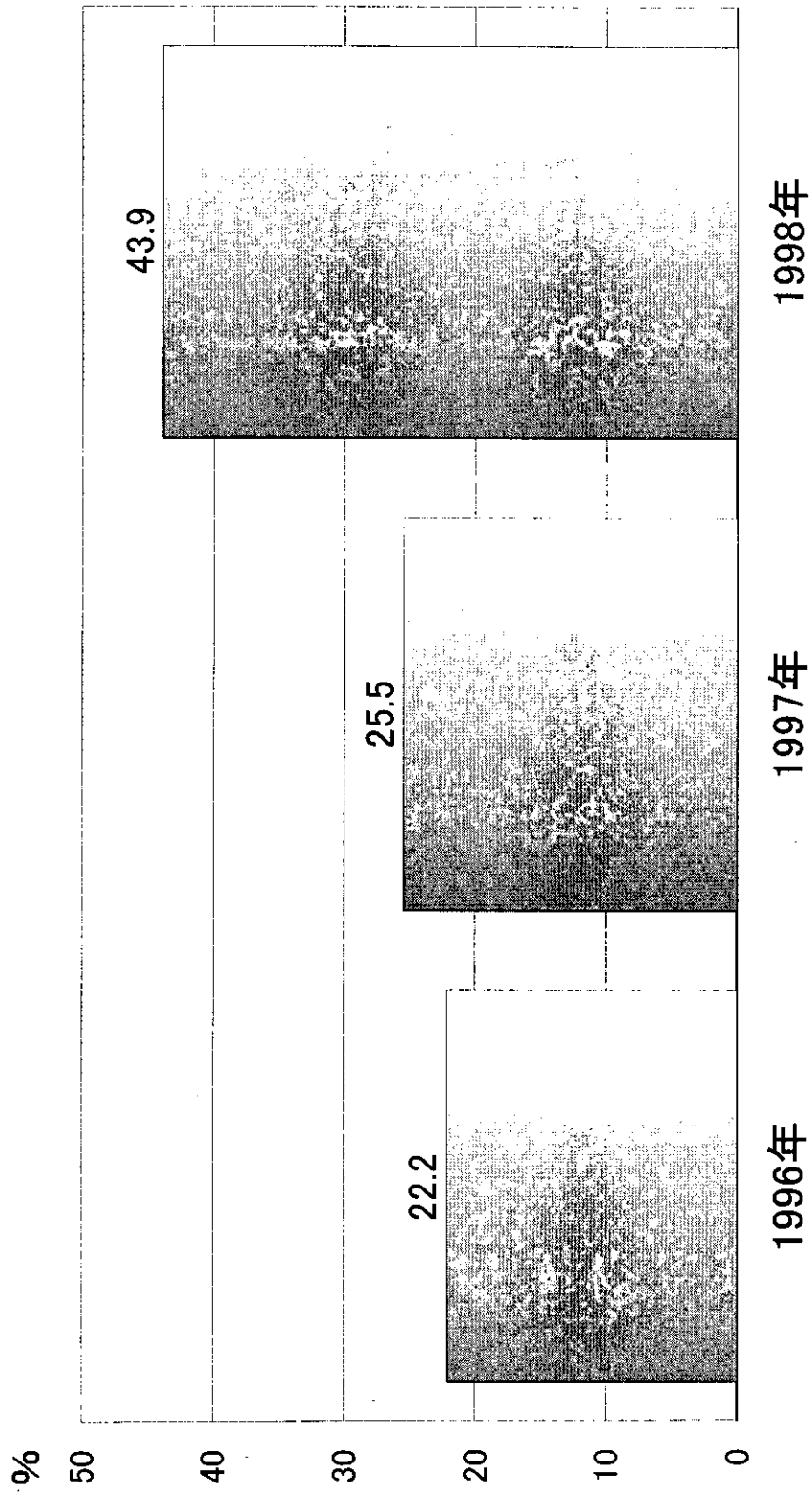


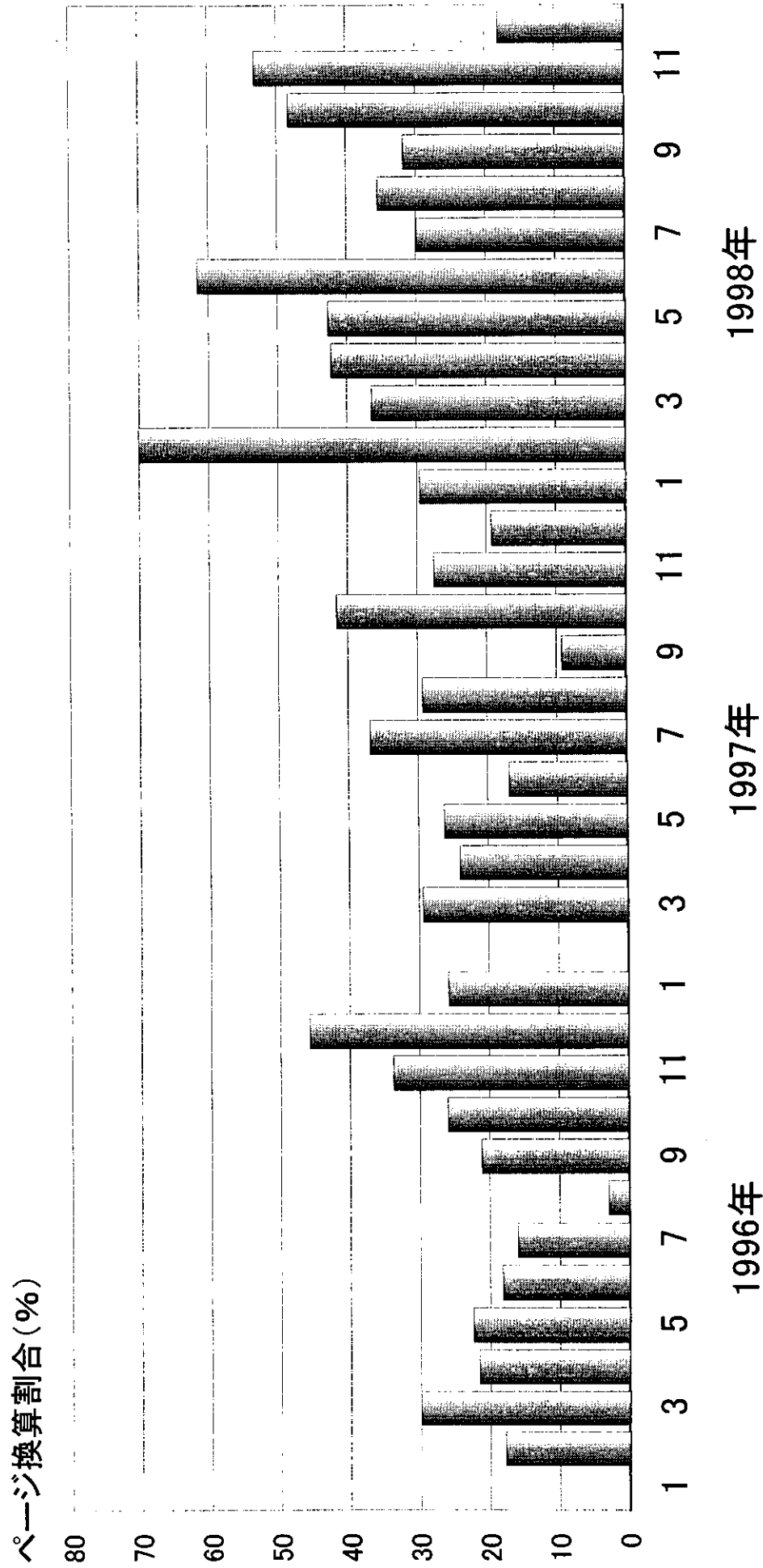
懸賞広告の割合の推移



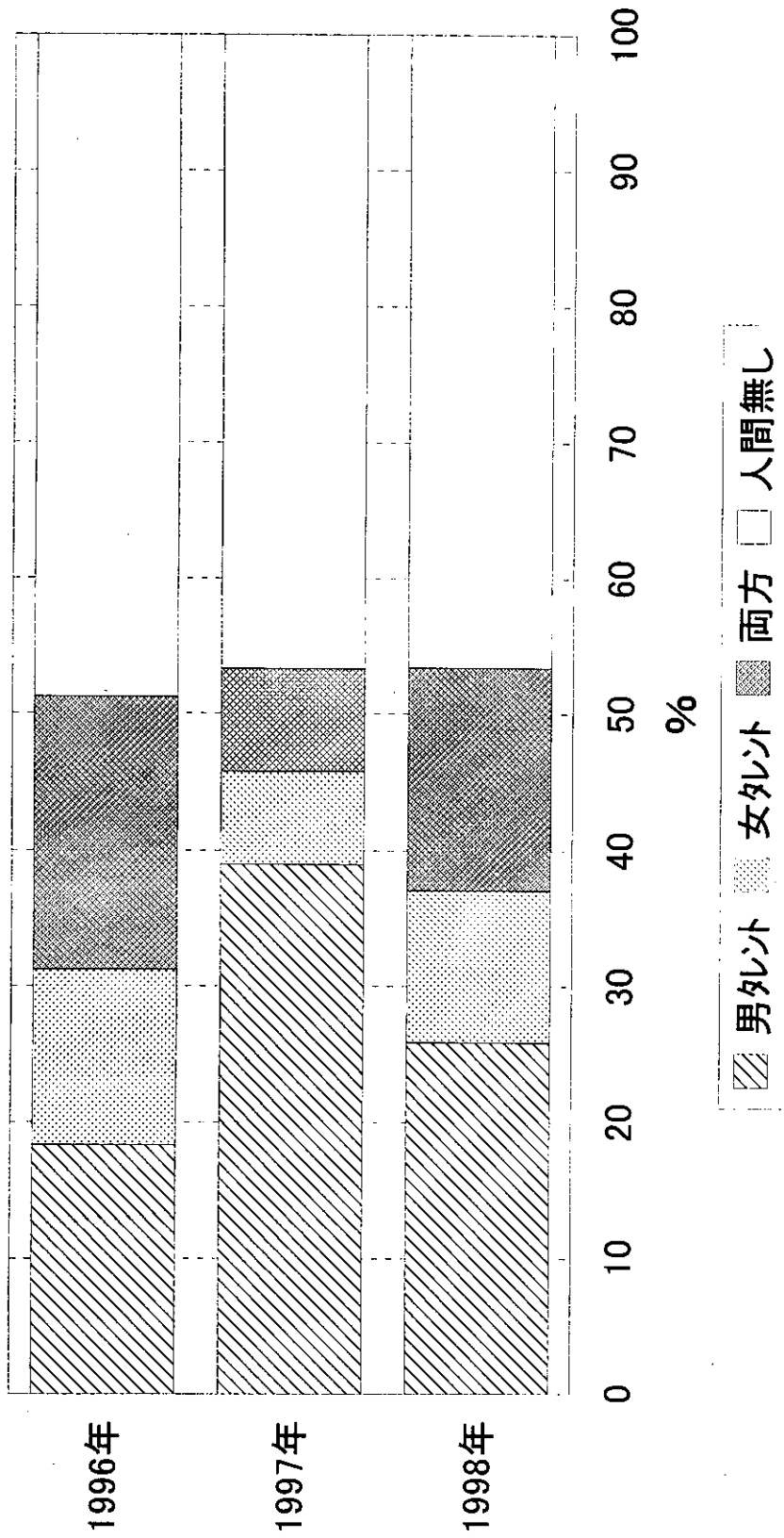
懸賞広告の割合の推移



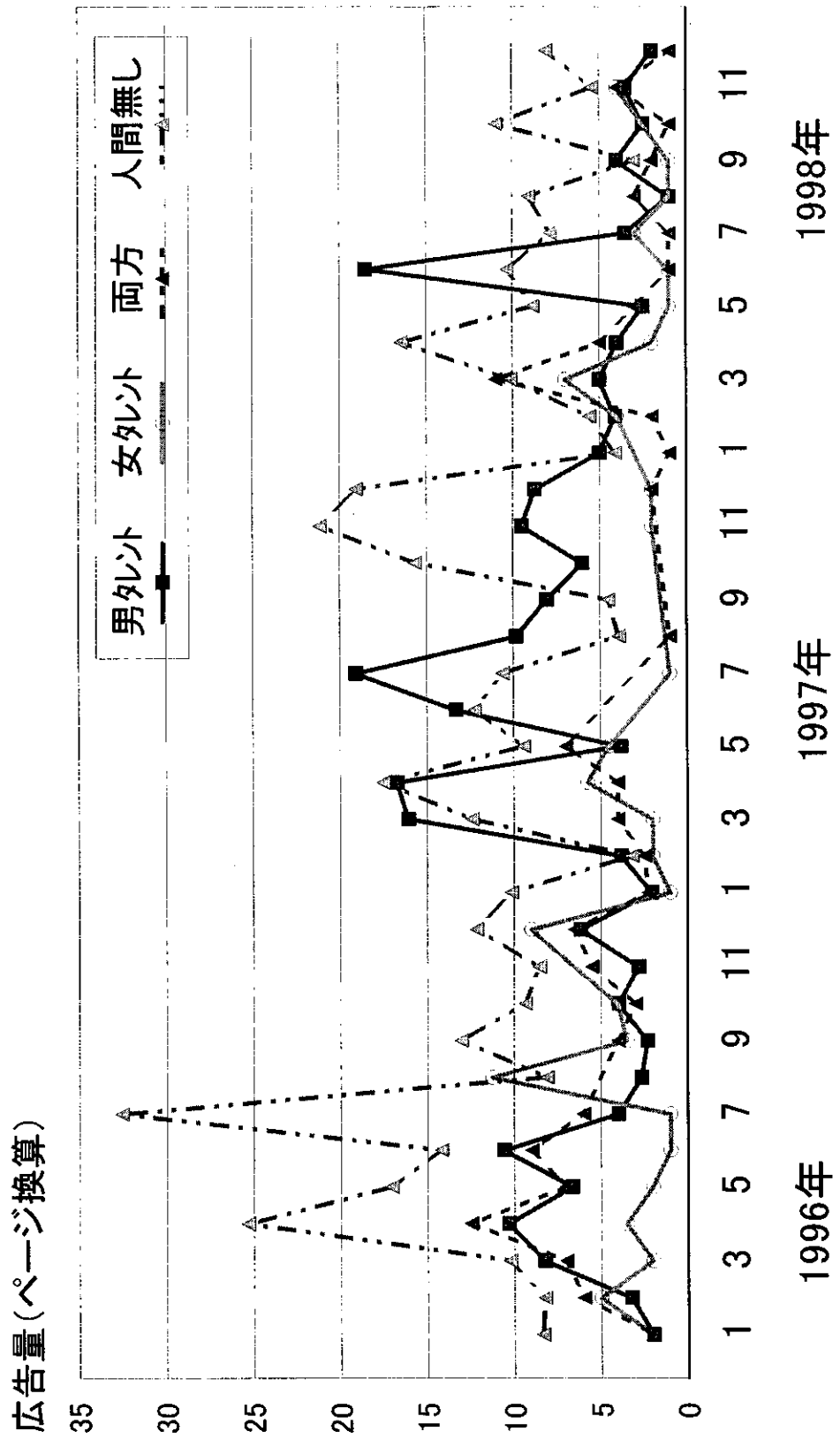
懸賞広告の割合の推移



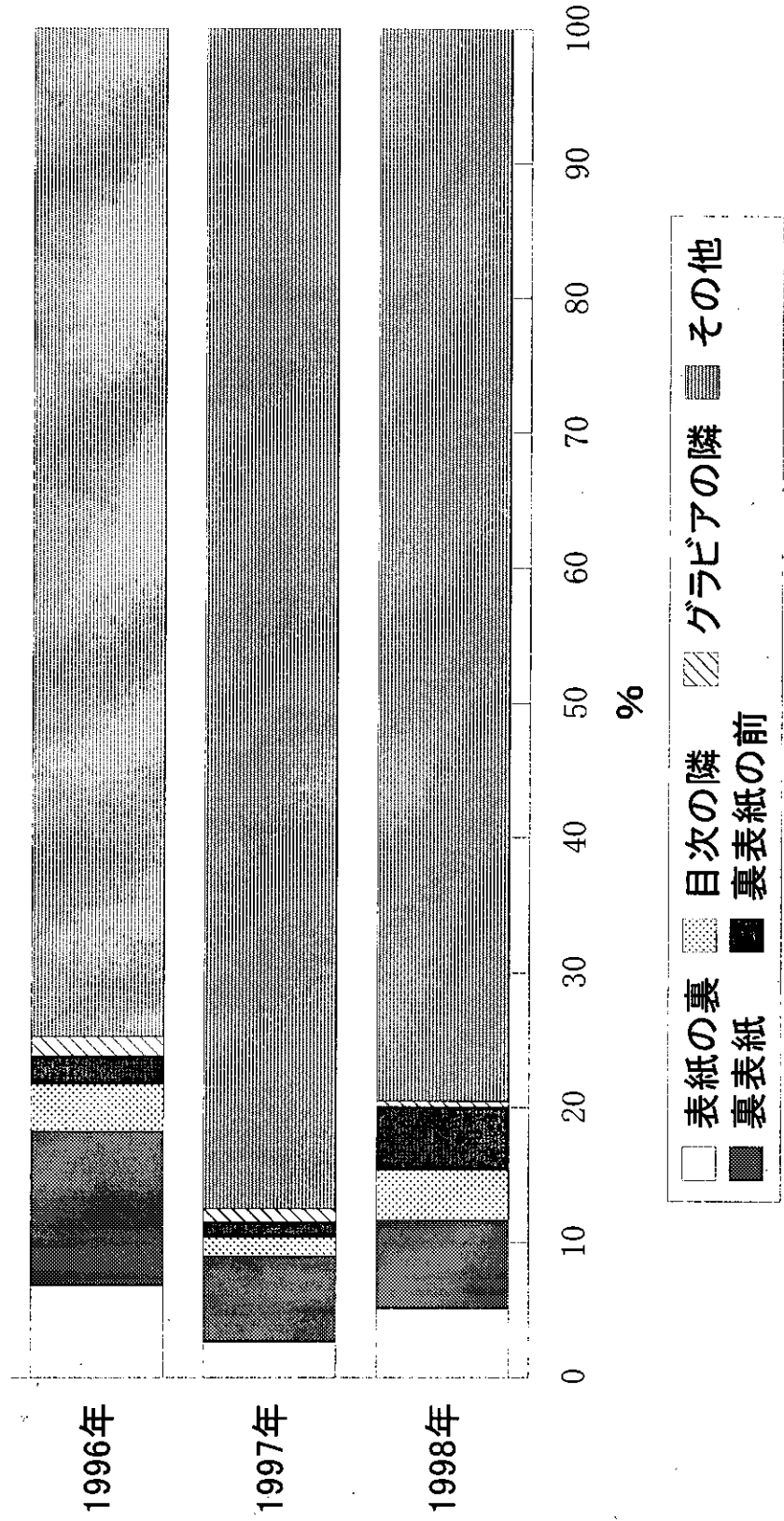
雑誌広告にタレントがでているかどうか



広告出演タレントの性別別広告量の推移



広告の位置の推移



酒の街頭広告の推移

	00.7.29		8.25.27		9.28.30		10		11		12		01.1.26.30	
	総数	銘柄	総数	銘柄	総数	銘柄	総数	銘柄	総数	銘柄	総数	銘柄	総数	銘柄
池袋	1	焼酎	1	焼酎	1	焼酎	1	焼酎	1	焼酎	1	焼酎	1	焼酎
渋谷	1	ビール	1	ビール	1	ビール	1	ビール	1	ビール	1	ビール	2	ビール
表参道・原宿	1	ビール	1	ビール	1	ビール	2	ビール	2	ビール	2	ビール	2	ビール
新宿	3	ビール	3	ビール	3	ビール	3	ビール	3	ビール	4	ビール	3	ビール
		日本酒		日本酒		日本酒		日本酒		日本酒		日本酒		日本酒
		日本酒		日本酒		日本酒		日本酒		日本酒		日本酒		日本酒
銀座・有楽町	3	ビール	3	ビール	3	ビール	3	ビール	3	ビール	3	ビール	4	ビール
		ビール		ビール		ビール		ビール		ビール		ビール		ビール
		ウイスキー		ウイスキー		ウイスキー		ウイスキー		ウイスキー		ウイスキー		ウイスキー
六本木	3	焼酎	3	焼酎	3	焼酎	4	焼酎	4	焼酎	4	焼酎	4	焼酎
		ビール		ビール		ビール		ビール		ビール		ビール		ビール
		ウイスキー		ウイスキー		ウイスキー		ウイスキー		ウイスキー		ウイスキー		ウイスキー
合計	12		12		12		14		14		15		16	

路線別酒広告の推移

	2000年							
枚数	7月	8月	9月	10月	11月	12月	01年1月	
京浜東北	8	2	5	7	4	5	14	
京成	1	1	0	0	0	1	0	
山手	3	2	4	8	4	5	14	
都営三田	2	1	1	3	2	0	1	
京王	2	1	2	1	1	1	0	
小田急	1	1	2	1	1	2	2	
中央	5	1	5	6	4	5	14	
埼京	6	6	3	6	4	5	14	
西武池袋	4	2	1	1	1	2	4	
東武東上	0	0	2	0	0	0	0	
丸の内	5	5	2	5	4	6	5	
東横	2	3	3	4	2	2	3	
総数	39	25	30	42	27	34	71	

未成年者の喫煙行動と関連要因



鳥取大学医学部衛生学 尾崎米厚



未成年の喫煙対策の要点

- 喫煙行動調査: 課題の把握, 活動の評価
- 健康教育: 総合的なもの、効果的なもの(参加型、ピア教育, 等の導入), 地域ぐるみの取組との連動
- 禁煙のための支援: 教育, カウンセリング, 医療等
- 啓蒙: メディアによるメッセージ
- 禁煙、分煙の強化(特に学校施設)
- 子どもへの販売の禁止の徹底: 自販機、コンビニ等
- たばこの値段を上げる
- 広告, スポンサー活動の禁止

必要な調査研究

- 喫煙行動に関する全国調査
- 健康教育方法の開発と評価(含む禁煙指導)
- 地域介入プログラムの実施と評価
- 子どもを取り巻くたばこ環境の評価と禁煙、分煙等の対策の評価
- 教職員の行動意識調査, 学校教育の頻度, 内容や課題に関する調査
- たばこの入手経路の調査、生産者, 販売者の意識等の調査
- 子どもの喫煙の経済的な分析
- 広告やスポンサー活動の及ぼす影響
- 子どもの喫煙に及ぼすメディアの影響
- 広告規制等、法制化に関する研究(国際比較も含め)
- 未成年者喫煙の害, 受動喫煙、依存症の研究等を除く

未成年者の喫煙行動に関する全国調査

目的

- 全国を代表する中高生の喫煙率を明らかにする。
- わが国の中高生の喫煙行動の特徴を明らかにする。
- 喫煙行動の関連要因を明らかにする。
- これらを定期的に実施し、動向を把握する。

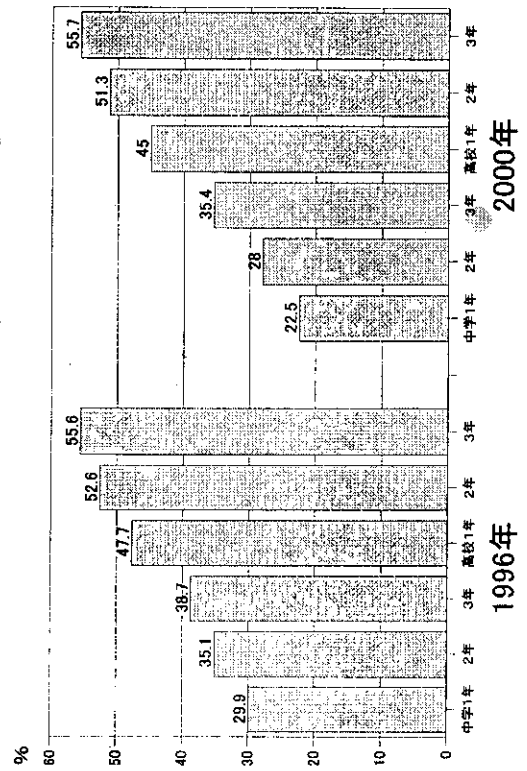
対象と方法

- 全国の中学校と高等学校から標本を抽出(喫煙行動及び飲酒行動調査として実施)
- 抽出方法は、層別1段クラスター抽出;層は地域ブロック、クラスターは学校
- 抽出学校の在校生全員を対象に、学校での無記名、自記式調査票による調査を実施。各生徒に糊付封筒を配布し、調査票に回答後すぐに封をしまった。
- 調査時期は、1996年12月～97年1月、2000年12月～01年月
- 平成8年度回収状況

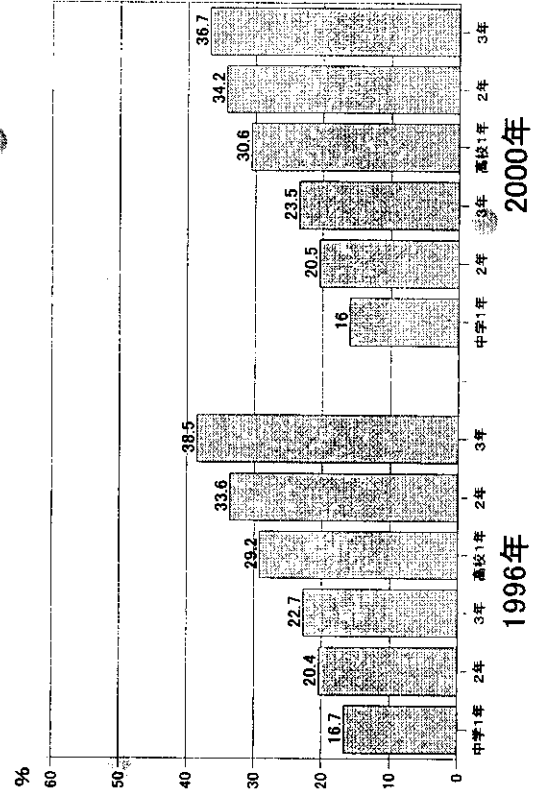
中学校	学校協力率	有効回答数	有効回答率(%)
高校	80校(85.5)	42,798通	64.1
	73校(67.0)	73,016通	62.5
- 平成12年度回収状況

中学校	学校協力率	有効回答数	有効回答率(%)
高校	99校(75.0)	47,246通	66.1
	77校(75.5)	59,051通	59.3
- 1990年に喫煙行動調査のみ実施。(調査方法がやや異なる)

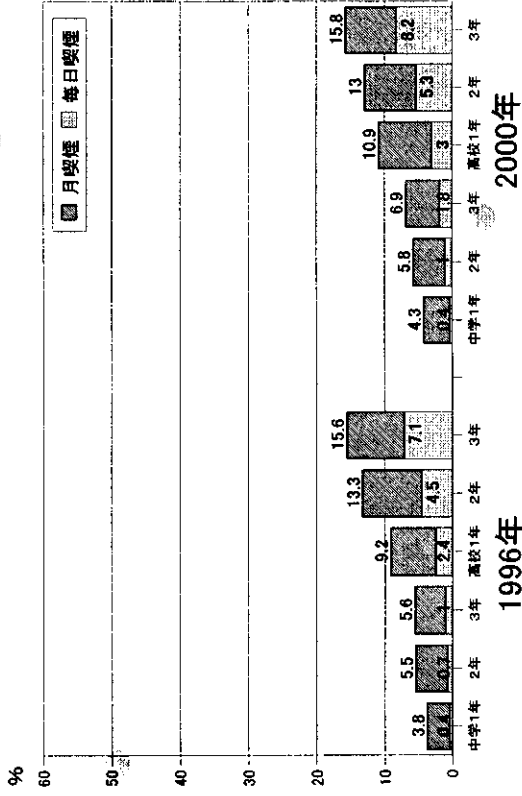
男子の喫煙経験率



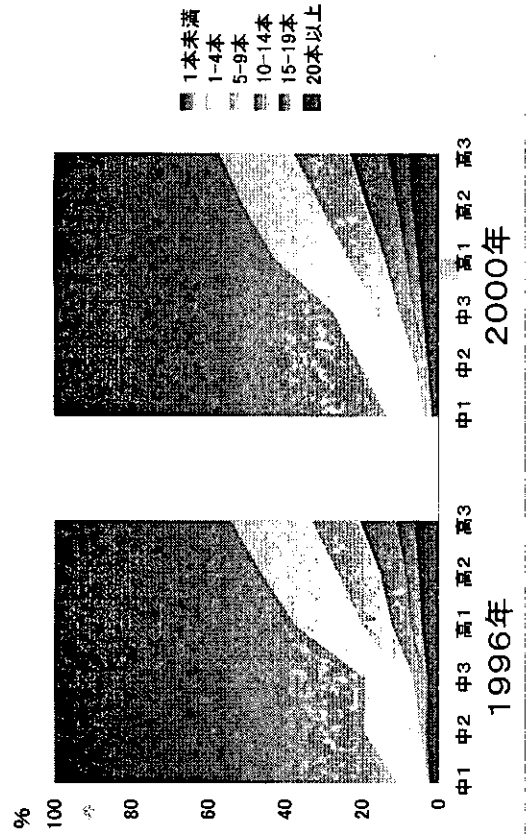
女子の喫煙経験率



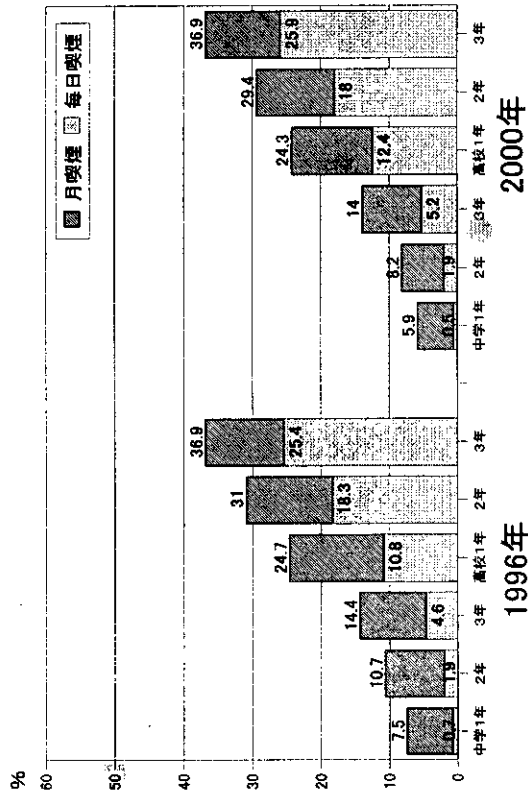
女子の月喫煙者率, 毎日喫煙者率



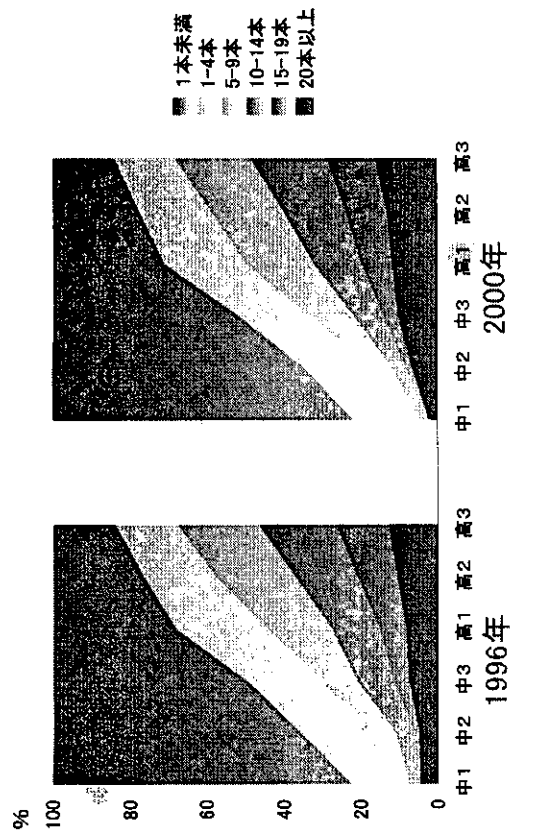
月喫煙者の1日平均喫煙本数(女子)



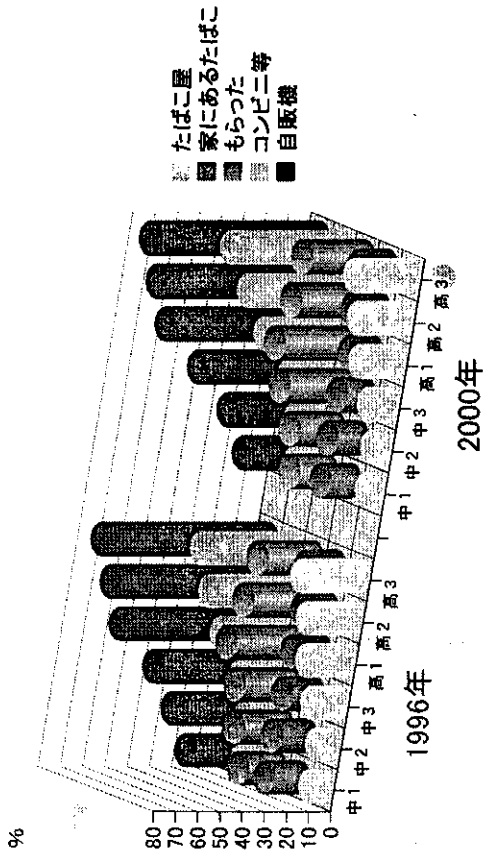
男子の月喫煙者率, 毎日喫煙者率



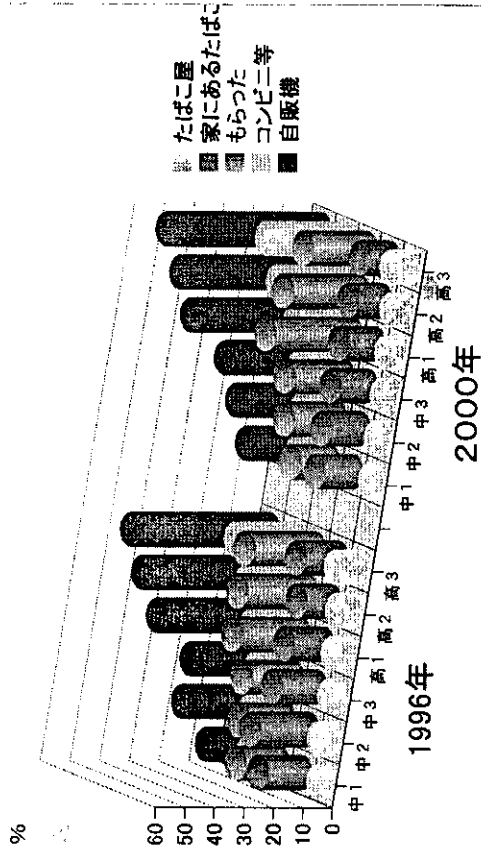
月喫煙者の1日平均喫煙本数(男子)



月喫煙者のたばこの入手経路(男子)

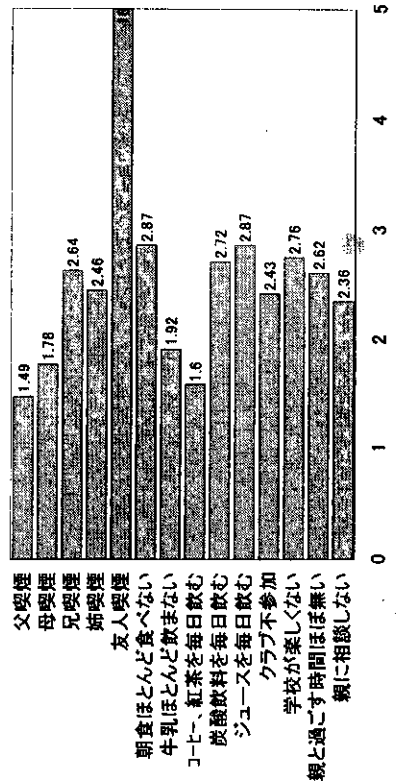


月喫煙者のたばこの入手経路(女子)



中高生の喫煙に関連する要因(1996)

(それぞれの要因がない場合の喫煙率を1とした時、要因がある場合の月喫煙率の比)



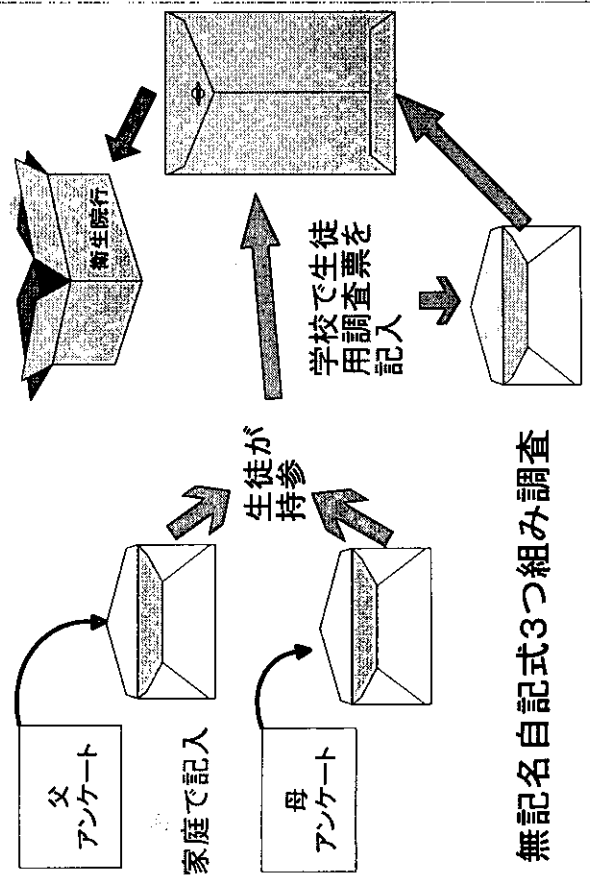
わが国の中高生の喫煙行動の特徴

- 喫煙経験率、月喫煙率、毎日喫煙率いずれも学年とともに上昇。高校男子は過半数が経験済み。月喫煙者の多くは毎日喫煙。1996年と2000年調査を比較すると喫煙率は減少していない。女子の毎日喫煙率がやや増加。
- 喫煙量も学年とともに増加。1996年と比較して2000年にはやや増加。
- 入手経路は学年があがるにつれ、自販機、コンビニ、たばこ屋から買う者の割合が増加。特に自販機が重要。自主規制後も自販機で買う者の割合減っていない。
- 親から喫煙をすすめられる青少年もいる
- 周囲の者の喫煙に影響されている
- 喫煙者は健康的な生活習慣を身に付けていない

中学生とその父母の飲酒及び喫煙行動に関するリンク調査

研究目的 研究対象・手順

- 目的: 中高生の喫煙、飲酒行動に影響を与える父母の要因を明らかにし、未成年者の飲酒、喫煙対策を推進するための情報提供の実施
- 1996年の学校総覧より無作為に中学25校、高校15校を抽出。無記名調査票による断面調査。
- 生徒と父母の3点セットの調査票を配布。生徒は父母用を糊付き封筒とともに自宅に持って帰り父母別々に記入後それぞれが糊つき封筒に入れ封をして生徒が翌日学校へ持参。生徒は教室で生徒用調査票を記入し封筒に入れ、生徒の3点を1つの中封筒に入れて回収した。これにより無記名のままで親子の対応が取れる。
- 中学14校(56%)、高校10校(66.7%)が調査に協力。在校全校生徒へ調査票を配布し、16,732セット回収された。生徒と父の対応が取れたもの12,169セット、生徒と母の対応が取れたもの13,263セット、3者の対応が取れたもの11,561セットあった。

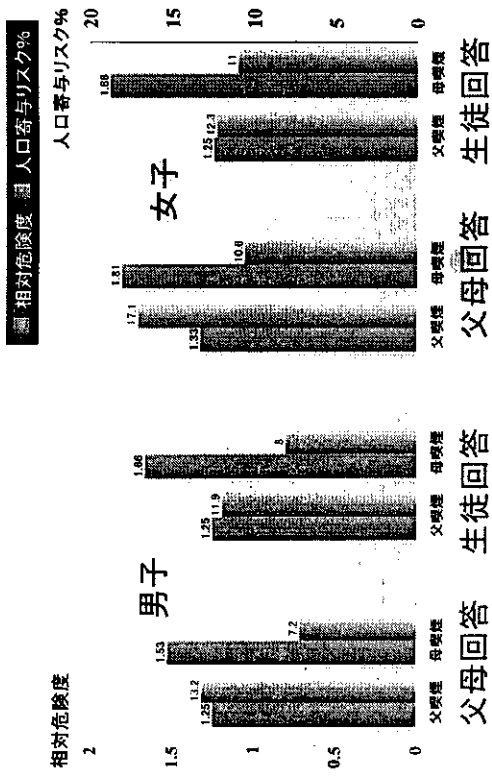


生徒の回答はかかなり父母の回答に一致する

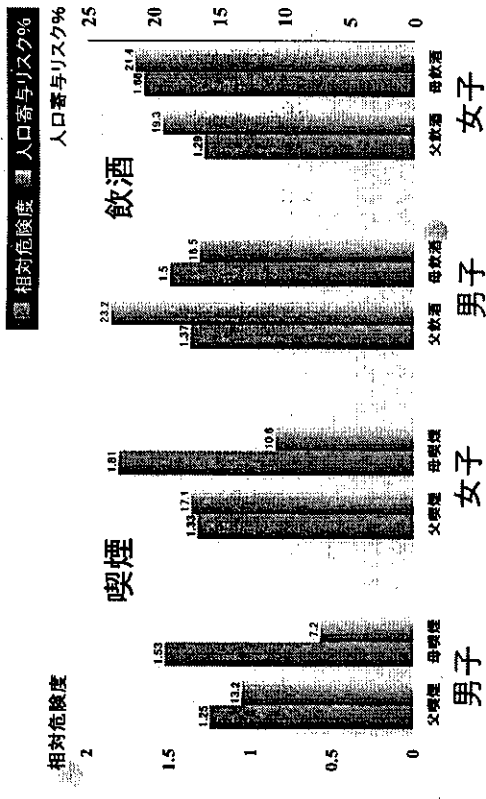
表1 父母の自己申告による喫煙状況と生徒による回答との一致度

父回答	生徒の回答		κ	非喫煙あり	κ	父母の申告を具とする	
	一致度	特異度				一致度	特異度
喫煙なし・他	4514	669	0.73	0.86	0.87		
毎日喫煙	949	6037					
喫煙なし	4378	805	0.74	0.89	0.84		
喫煙あり	761	6225					
母回答	喫煙なし・他	11218	301	0.68	0.65	0.97	
毎日喫煙	604	1140					
喫煙なし	11051	468	0.71	0.76	0.96		
喫煙あり	416	1328					
喫煙三時々喫煙	毎日喫煙						

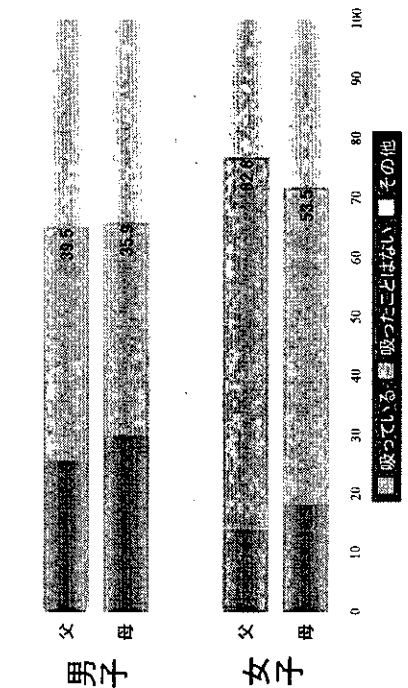
誤分類の影響(父母の回答を真としたら)



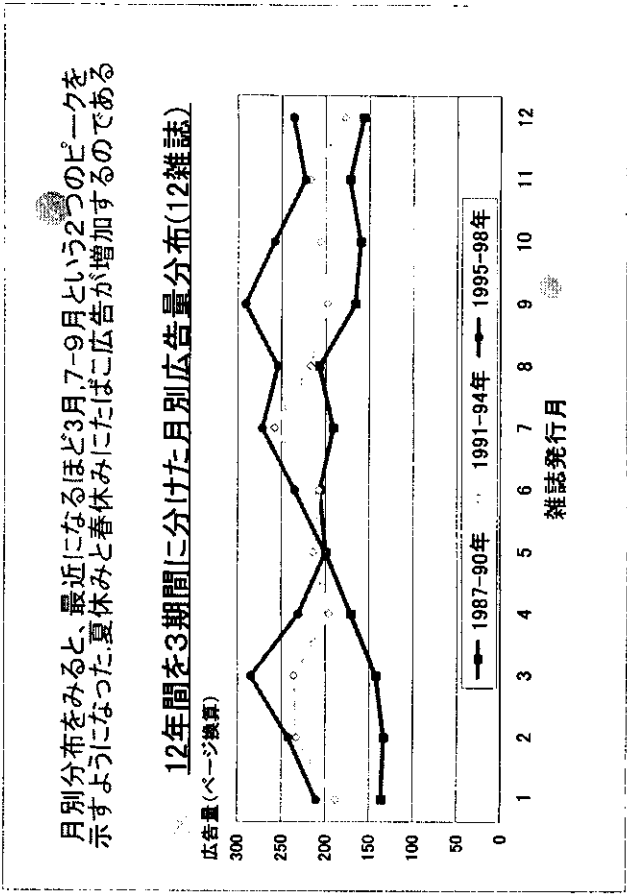
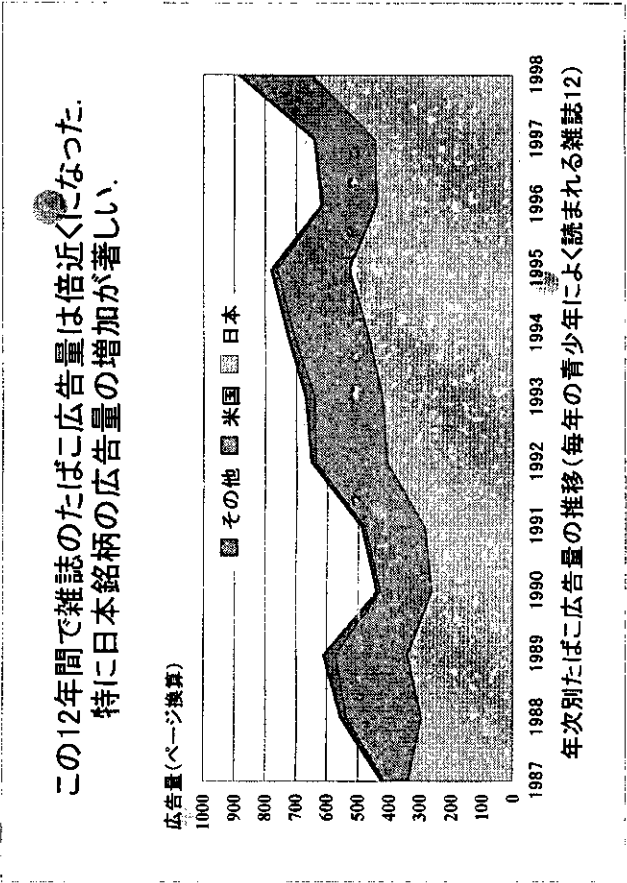
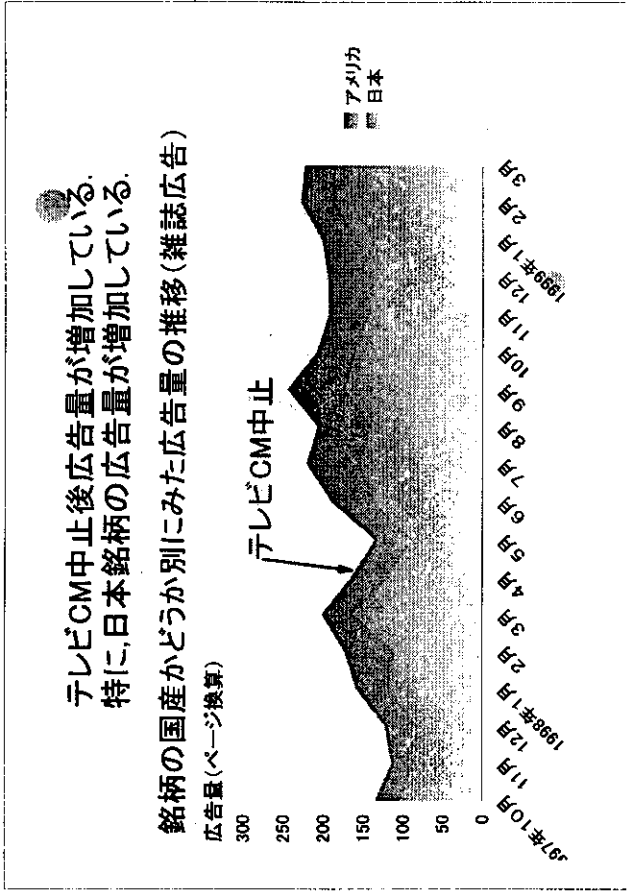
父母の飲酒・喫煙が生徒の飲酒・喫煙に与える影響 両親の喫煙、飲酒の影響は大きい。



中高生の喫煙者の父母は自分の子が吸っていると思っているか？

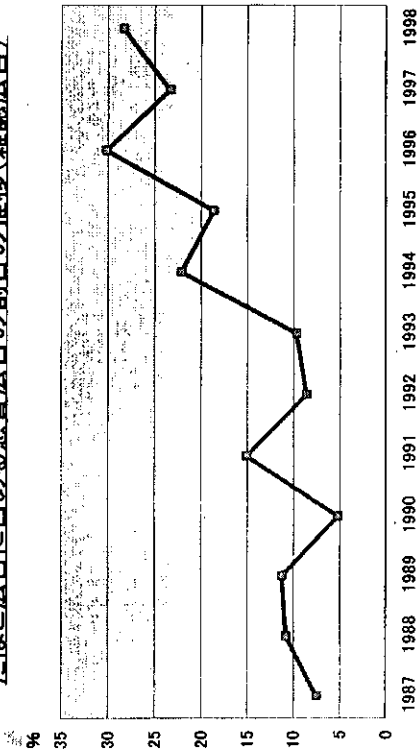


未成年者の飲酒及び 喫煙行動を取り巻く環境



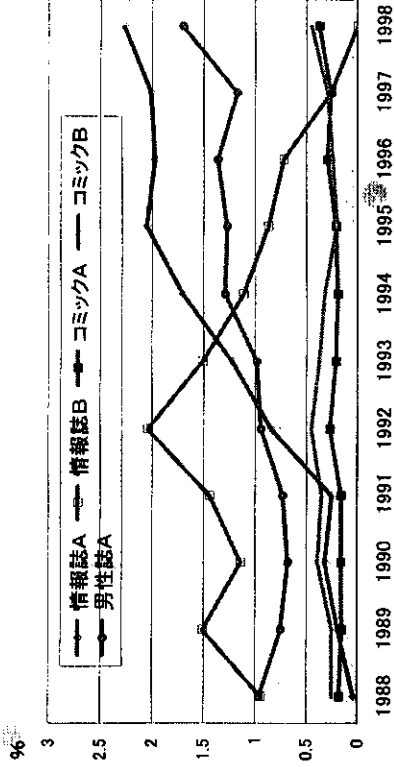
懸賞広告の割合は増加傾向にある

たばこ広告に占める懸賞広告の割合の推移(雑誌広告)



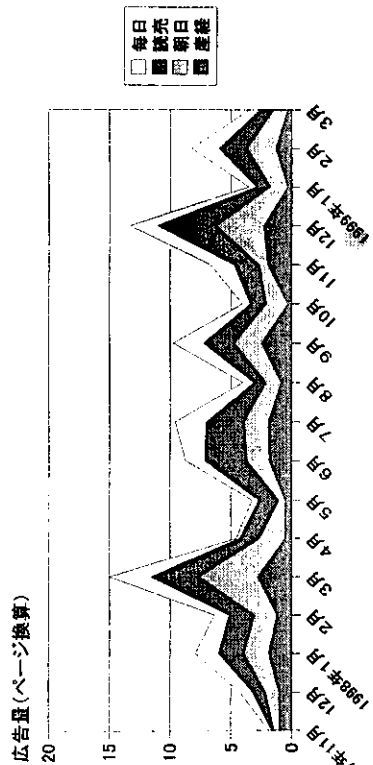
雑誌によりたばこ広告掲載割合の動向は異なっていた。ユニセックスの情報誌での割合が増加傾向にある。

雑誌別にみた雑誌ページあたりのたばこ広告の割合(雑誌広告)



主要4新聞のたばこ広告掲載量は月別変動を繰り返しながら推移しているが、増加傾向は認められない。

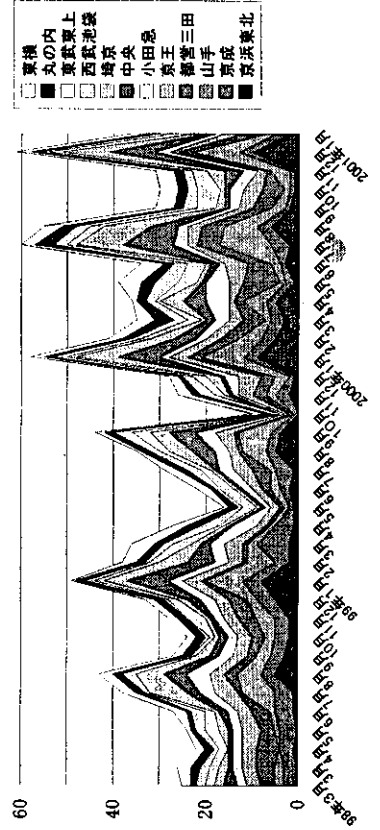
掲載紙ごとにみたたばこ広告量の推移(新聞広告)



夏と冬にピークがあり、その他の月も漸増傾向にある。ピークも大きくなる傾向があった。

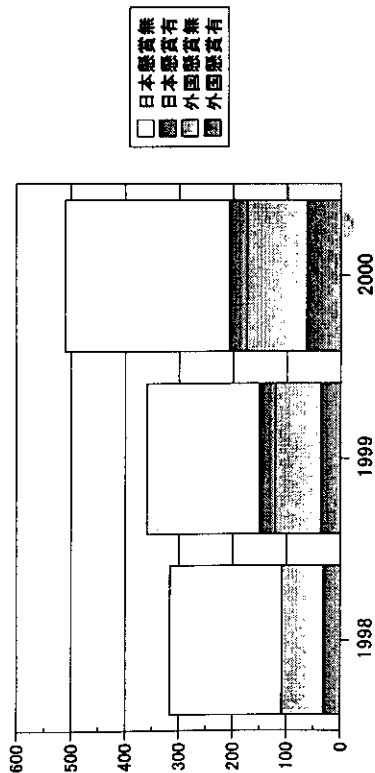
ピークの月に特に広告数が増加する路線があった。

たばこの電車内広告数の推移(東京の主な12路線)



広告量は増加傾向にある。懸賞広告数も増加傾向にある。外国銘柄の懸賞広告の割合が高い。

懸賞有無別、国別たばこ広告数の推移（東京近郊主な12路線）



96年調査の中生喫煙銘柄と銘柄別雑誌広告との関連

	銘柄別広告量	銘柄別広告量	銘柄別広告量	銘柄別広告量
	88-96	88-90	91-93	94-96
青少年喫煙調査				
喫煙銘柄				
Peason	0.635	0.531	0.572	0.651
Spearman	0.285	0.175	0.298	0.323
喫煙銘柄				
Peason	0.558	0.466	0.503	0.57
Spearman	0.325	0.246	0.385	0.517
喫煙銘柄				
Peason	0.617	0.534	0.551	0.624
Spearman	0.35	0.238	0.344	0.524
喫煙銘柄				
Peason	0.651	0.525	0.591	0.678
Spearman	0.353	0.26	0.35	0.532

広告調査、喫煙銘柄調査の結果

- 雑誌のたばこ広告は増加している。広告量には季節変動がある
- 懸賞広告の割合が増加している
- 雑誌の種類によりたばこ広告量の増減の傾向が異なる。雑誌によりよく広告される銘柄は異なる
- 青少年は外国銘柄のたばこを良く吸っている
- 青少年は雑誌に良く広告されている銘柄を吸う傾向にある
- 早く喫煙を経験した者でも、最近よく広告されている銘柄を吸う傾向がある（ブランド・スイッチング）

まとめ

- 喫煙行動に関する全国調査は、喫煙行動のモニタリング、政策の評価、予防対策の提案等に有効であるため、定期的の実施すべきである。
- 未成年者の喫煙を取り巻く環境を調査することにより、未成年者の喫煙行動に悪影響を与える要因を明らかにでき、客観的な根拠に基づき何らかの規制の必要性が訴えることができる
- 今後は、地域づくりの中に位置付けられた広範な喫煙対策の展開が望まれ、これらを地域介入研究として成果を評価することに取り組みたい。このために健康日本21は良い契機である。

上戸の探偵団



「三ホソハ(ハンズオン)」。米国人女性が飛び込んで来た。街でたばこを吸う姿が目立ち、喫煙先進国「かみそ」に近づく。探偵、深淵の日本は「健康ブーム」の波が押し寄せた。たばこは「健康志向」の波が押し寄せた。たばこは「健康志向」の波が押し寄せた。

男性は比率低下

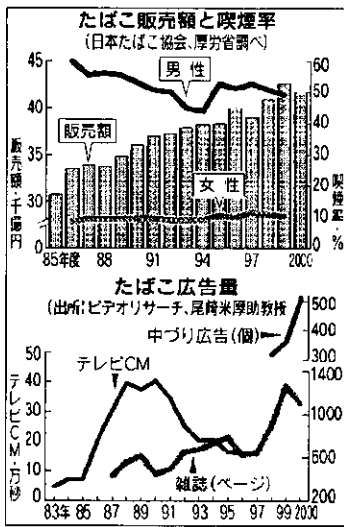
たばこの販売総額(税込み)は一九九九年に最高の四兆二千六百億円に達した。販売額は、八九年以降、増え続け、九六年に三兆四千八百三億本を記録した後、増税の影響で減り、明後日からは増税がなければ、再び増加傾向にある。問題は……「女性の喫煙率ね」。明日の調査結果を待たなければならない。



喫煙する若い女性が減っている

減らないたばこ消費 健康志向でもなぜ?

「健康志向」の波が押し寄せた。たばこの消費は減らない。健康志向の波が押し寄せた。たばこの消費は減らない。健康志向の波が押し寄せた。



「たばこ販売額と喫煙率」のグラフは、販売額が増え続けている一方で、喫煙率は減少傾向にある。これは、健康志向の波が押し寄せた結果である。

紫煙誘う出店規制緩和

「たばこ」の規制緩和が進んでいる。紫煙の誘いを減らすための規制緩和が進んでいる。紫煙の誘いを減らすための規制緩和が進んでいる。

「未成年が2割弱」の調査結果が発表された。未成年者の喫煙率は2割弱に低下している。これは、健康志向の波が押し寄せた結果である。

「たばこ」の規制緩和が進んでいる。紫煙の誘いを減らすための規制緩和が進んでいる。紫煙の誘いを減らすための規制緩和が進んでいる。

広告・販売店も増える 税収絡み煮え切らぬ国

「たばこ」の規制緩和が進んでいる。紫煙の誘いを減らすための規制緩和が進んでいる。紫煙の誘いを減らすための規制緩和が進んでいる。

「未成年が2割弱」の調査結果が発表された。未成年者の喫煙率は2割弱に低下している。これは、健康志向の波が押し寄せた結果である。

「たばこ」の規制緩和が進んでいる。紫煙の誘いを減らすための規制緩和が進んでいる。紫煙の誘いを減らすための規制緩和が進んでいる。

「たばこ」の規制緩和が進んでいる。紫煙の誘いを減らすための規制緩和が進んでいる。紫煙の誘いを減らすための規制緩和が進んでいる。

「未成年が2割弱」の調査結果が発表された。未成年者の喫煙率は2割弱に低下している。これは、健康志向の波が押し寄せた結果である。

「エコノミクス」の調査結果が発表された。未成年者の喫煙率は2割弱に低下している。これは、健康志向の波が押し寄せた結果である。